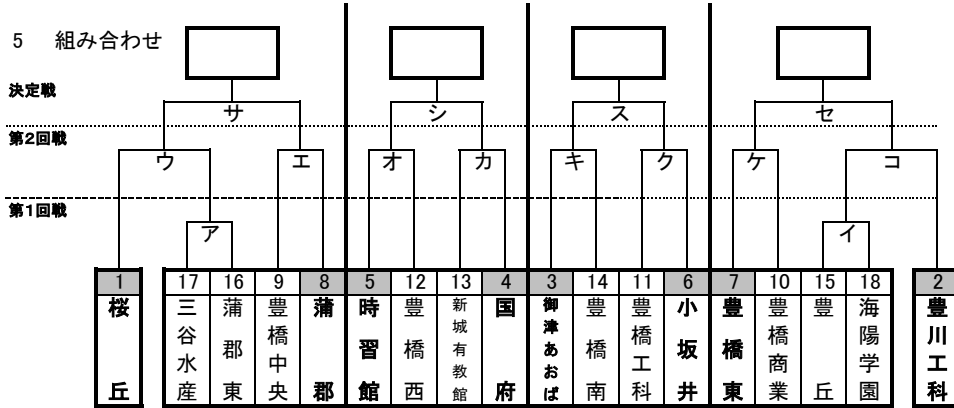


第102回全国高校サッカー選手権大会 東三河地区予選会

- 1 主催 愛知県サッカー協会
- 2 主管 東三河地区協会2種委員会
- 3 期日 令和5年 8月 23日(水)・24日(木) 26日(土) 27日(日)
9月 2日(土)・3日(日)
- 4 会場 1回戦 8月 23日(水) 1会場 海陽多目的広場A
24日(木) 予備日
2回戦 26日(土) 4会場 豊川市サッカー場 ・ 海陽多目的広場A ・ 時習館 ・ 小坂井
27日(金) 予備日
決定戦 9月 2日(土) 2会場 岩田球技場 ・ 豊橋総合スポーツ公園
3日(日) 予備日

5 組み合わせ



* 豊川…予選免除

- ① 東三河支部予選から県大会出場校は4校。
- ② 第1～3シード ⇒ 県4部リーグ 桜丘・豊川工科・御津
- ③ 第4～8シードはポイント制のシード順位に従う。
- ④ 上記の網掛け以外の番号はフリー抽選による。

第1回戦 副審の帯同は有資格者であれば生徒可。

| 期日 | | 8月 23日 (水) | | スコア | | スコア | | 主審 | 副審 | 副審 |
|----------|----------|------------|----|------|-----|-----|------|---------|-------|-------|
| 時間 | 会場 | 記号 | 番号 | チーム名 | スコア | 番号 | チーム名 | 主審 | 副審 | 副審 |
| I 9:30 | 海陽多目的広場A | ア | | 三谷水産 | | | 蒲郡東 | II 海陽学園 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| II 11:45 | | イ | | 豊丘 | | | 海陽学園 | I 小林徹 | 三谷水産 | 三谷水産 |

会場校 蒲郡東

第2回戦 副審の帯同は有資格者であれば生徒可。

| 期日 | | 8月 26日 (土) | | スコア | | スコア | | 主審 | 副審 | 副審 |
|----------|-----------|------------|----|-------|-----|-----|------|----------|-------|-------|
| 時間 | 会場 | 記号 | 番号 | チーム名 | スコア | 番号 | チーム名 | 主審 | 副審 | 副審 |
| I 9:30 | 豊川市 サッカー場 | ウ | | 桜丘 | | | アの勝者 | II 豊川工科 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| II 11:45 | | コ | | イの勝者 | | | 豊川工科 | I 片岡 | アの勝者 | アの勝者 |
| I 9:30 | 海陽多目的広場A | カ | | 新城有教館 | | | 国府 | II 御津あおば | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| II 11:45 | | キ | | 御津あおば | | | 豊橋南 | I 新城有教館 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| I 9:30 | 時習館 | オ | | 時習館 | | | 豊橋西 | II 蒲郡 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| II 11:45 | | エ | | 豊橋中央 | | | 蒲郡 | I 豊橋西 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| I 9:30 | 小坂井 | ク | | 豊橋工科 | | | 小坂井 | II 豊橋東 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |
| II 11:45 | | ケ | | 豊橋東 | | | 豊橋商業 | I 豊橋工科 | 主審の帯同 | 主審の帯同 |

会場校 桜丘

会場校 国府

決定戦

| 期 日 | | 9月 2日 (土) | | | | | | | | | |
|----------|----------------|-----------|------|-----|------|-----|------|-----|-----------|--|--|
| 時間 | 会場 | 記号 | チーム名 | スコア | チーム名 | 主 審 | 副 審 | 副 審 | | | |
| I 9:30 | 岩田 球技場 | サ | ウの勝者 | | エの勝者 | | | | 会場校 桜丘 | | |
| | | | 役員 | | 技術 | | 第四審判 | | | | |
| II 11:45 | | セ | ケの勝者 | | コの勝者 | | | | | | |
| | | | 役員 | | 技術 | | 第四審判 | | | | |
| 時間 | 会場 | 記号 | チーム名 | スコア | チーム名 | 主 審 | 副 審 | 副 審 | | | |
| I 9:30 | 豊後総合 スポーツ公園 | シ | オの勝者 | | カの勝者 | | | | 会場校 国府 | | |
| | | | 役員 | | 技術 | | 第四審判 | | | | |
| II 11:45 | | ス | キの勝者 | | クの勝者 | | | | | | |
| | | | 役員 | | 技術 | | 第四審判 | | | | |

* 第一試合 監督会議8:20 第二試合 監督会議10:35

6 注意事項

- ① 試合時間 40分-10分-40分、同点の場合には延長10分-10分、尚決しない場合にはPK戦とする。
延長戦に入る前のインターバルは原則として5分とし、PK戦の前のインターバルは原則として1分とする。
- ② 選手到着後本部に連絡し、試合開始70分前までに正副のユニフォームを本部に持参しユニフォームチェックを受ける。
試合開始40分前までに付き添い責任者によりメンバー表を提出すること。付き添い責任者のいない学校は失格とする。
メンバー表提出の際には、選手証も提出し、確認を受ける。(原則として会場主任が行ってください。)
- ③ 試合毎に登録できる選手の人数は20名以内とし、交代は試合が延長戦に入った時も含め5名まで許可される。(交代回数に制限は設けない。)
- ④ 退場を命じられた選手は次回戦の出場を停止とする。本大会中、通算2回の警告を受けた場合も次回戦の出場を停止とする。
その後の処置については、規律フェアプレー委員会で決定する。
規律フェアプレー委員会は、競技委員長、競技委員、審判長、技術委員長で構成する。
- ⑤ ユニホームの背番号は1~30番とする。 ⑥ 競技規則は本年度「日本サッカー協会」の制定規則とする。
- ⑦ 参加資格は「全国高等学校サッカー選手権大会要項」に準ずる ⑧ 試合球は両チームより検定球を持参ください。
- ⑨ 貴重品の管理は各校でお願いします。 ⑩ ゴミの持ち帰り、会場校の清掃を忘れないでください。
- ⑪ 熱中症対策として「選手権地区予選の熱中症対策」に沿って、運営を行う。
- ⑫ 審判及び役員は便宜上配置したものであり、勝敗の如何により、変更することもある。
- ⑬ ベンチに入る事の出来る役員・チームスタッフは6名以内とし、メンバー表に記載された者のみとする。
- ⑭ 試合開始前やハーフタイム中にベンチ周辺で作業を行う高校生スタッフは5名まで認める。
高校生スタッフは、試合中の選手と明確に区別ができるようにビブス等を着用し、ベンチ後方、応援席等に待機すること。(チームベンチには入れません。)
- ⑮ ベンチ及び応援団の言動については、充分配慮すること。
- ⑯ 休校等で試合に参加することが出来ない場合は不戦敗とし、敗者の繰り上げを無いものとする。
- ⑰ 「暴風警報」の発令された場合については、県大会の実施要項による。

(県大会実施要項抜粋)

- ① 暴風警報が発表された場合は、大会実行委員会が以下の(1)~(4)を原則として対応を決定する。
 - (1) 午前7時までに暴風警報が解除された場合は、予定どおり競技を行う。
 - (2) 午前7時から午前9時までに警報が解除された場合は、解除後3時間(地区予選については解除後2時間)が経過した時刻を目途に競技を開始する。
 - (3) 午前9時以降、県内全域又は一部地域に暴風警報が継続されている場合は、競技を行わない。
 - (4) 競技中に暴風警報が発令された場合は、ただちに競技を中止する。
- ② 特別警報が発表された場合は、大会実行委員会が以下の(1)~(3)を原則として対応を決定する。
 - (1) 大会の前日及び大会開始時刻前に本県に特別警報が発表された場合は、すべての競技を中止する。
 - (2) 大会開始前に特別警報が解除された場合においても、災害の状況及び気象・交通機関等、安全が確保されることが明確になるまで大会を実施しない。
 - (3) 競技中に特別警報が発表された場合は、ただちに競技を中止し、災害の状況及び気象・交通機関・帰宅経路の状況等の情報収集に努め、生徒の安全を確保する最善の対策(会場留め置き、避難場所への誘導等)を迅速に行う。
- ③ 地震の発生が予想される場合は、大会実行委員会が以下の(1)~(2)を原則として対応を決定する。
 - (1) 「南海トラフ地震に関する情報(臨時)」が発表された場合は、適宜必要な情報収集に努め、生徒、来場者等に対して必要な情報を伝達する。
また、避難場所・避難経路の確認等日頃からの地震への備えを再確認する。
 - (2) 競技中に大規模地震が発生した場合は、ただちに競技を中止し、災害の状況及び気象・交通機関・帰宅経路の状況等の情報収集に努め、生徒の安全を確保する最善の対策(会場留め置き、避難場所への誘導等)を迅速に行う。
 - (3) 競技中に大規模地震が発生した場合は、ただちに競技を中止し、災害の状況及び気象・交通機関・帰宅経路の状況等の情報収集に努め、生徒の安全を確保する最善の対策(会場留め置き、避難場所への誘導等)を迅速に行う。